

SAN-Ai

社会医療法人 三愛会 広報誌「さんあい」

Vol.34



2024.12.21 病院内クリスマスコンサート



ひとに笑顔を ちいきに“愛”を
社会医療法人 三愛会

社会医療法人 三愛会 広報誌「SAN-Ai」 Vol.34 (2025年1月1日発行)

発行元/〒870-1151 大分市大字市1213番地 TEL.097-541-1311 社会医療法人 三愛会 大分三愛メディカルセンター
社会医療法人 三愛会/www.san-ai-group.org/ 三愛総合健診センター/www.kenkou-oita.com



20年ほど前、
初めて腹圧性尿失禁（後述）の手術患者を担当した際のエピソード。
その80代の患者は、大分市外から1時間以上かけて来院。
腹圧性尿失禁に関する手術を受けた。
退院の際、長年外せなかったパッドが不要になり、
思わず「嬉しくて、スキップして帰りたいくらい！」と言ったセリフが、
花田のウロギネコロジーの原点となった。



カンファレンス時の泌尿器科医師4名

泌尿器科医師

花田 麻里 はなだ まり

専門：女性泌尿器科
認定資格：日本泌尿器科学会 専門医・指導医
難病指定医

兵庫県出身

2002年：大分大学医学部医学科卒業
大分大学医学部附属病院
腎泌尿器外科学講座

2004年：中津第一病院 泌尿器科
2010年：大分県厚生連鶴見病院
2016年：大分大学医学部附属病院
2018年：大分三愛メディカルセンター

「女性」というキーワードから「ウロ」と「ギネ」の領域へ。

2016年に三愛総合健診センターが開設し、9年が経とうとしている。最新の検査機器を充実させるとともに、当時としてはかなり珍しかった「男女別」フロアを実現し、男女ともにプライバシーに配慮した仕組みを構築してきた。通常の健診・検診のほかにも、人間ドックの待合室や内視鏡（胃カメラ・大腸カメラ）などにおいても、同様の考え方でエリア分け・システムづくりを続けている。

大分三愛メディカルセンターの診療においても、性差についてのマインドは浸透している。代表的な診療科が、「女性泌尿器科」だ。泌尿器科、と聞くと、一般的に男性の科のイメージがあり、女性の中には受診しづらいという印象を持たれることもある。しかし、頻尿や尿失禁などは男女問わず日常生活に大きく関わる問題。それによって、日常の過ごし方、交友関係、旅行などの楽しみなどについても、実は制限がかかってしまうことがある。

デリケートな問題であることに加え、さらに「加齢によるものだから仕方ない、治しようがない」といった思い違いもよくあり、それが「誰にも相談できずに1人で悩んでしまう」ことにつながってしまっている。実際に、泌尿器科に関しては、女性は悩みがあっても受診するまでに時間を要する傾向がある。

大分三愛メディカルセンター泌尿器科では、「女性泌尿器科」と称し、いわゆる「ウロギネコロジー」という泌尿器科（ウロ）と婦人科（ギネ）の境界領域の診療を行っている。

現場では女性泌尿器科医師・花田麻里をはじめとして、女性の看護師、事務員を揃えることで、女性が受診しやすい環境を整えている。

「気になっているけど、このくらいで受診は…」と考えてしまうこともあるだろうが、診察で現状を知ること、不安を軽減し、また解決の糸口が見つかることもあり、すでに多くの実例が生まれている。

間に合わずに漏れる

切迫性尿失禁

せっぱくせいによしっきん

急に強い尿意が起り、我慢できずに尿がもれてしまうものです。膀胱が過剰に活動してしまうことで、自分の意志とは関係なく尿もれが起ります。こちらも女性の尿失禁の中でも多いパターン。常日頃から気になってしまうので、日常生活に制限がかけやすくなります。

[症状]

- 急に尿意が強くなり起る(尿意切迫感)。
- 我慢できずに漏れてしまうこともある。

腹圧性尿失禁・切迫性尿失禁が難治性の場合

大分三愛メディカルセンターではCT・MRI・超音波検査(経腹・経会陰・経膣)・内診・造影検査・膀胱鏡検査など、追加検査が可能です。正しい診断が治療の成功につながります。

“くしゃみ”をすると漏れる

腹圧性尿失禁

ふくあつせいによしっきん

お腹に力が入ったときに尿がもれるもの。骨盤底の筋肉が弱くなり、膀胱や尿道を支えることができなくなることで、尿道括約筋が傷みます。そのため尿道を閉じられなくなるので起る症状です。重症化してしまうと、歩行しただけでも尿がもれることに。女性に多く、尿失禁のために日常生活に制限をかけてしまうことにも。

[症状]

- 咳やくしゃみをしたときに漏れる。
- 歩いたり走ったりと、運動したときに漏れる。
- 重いものを持ちあげたときに漏れる。
- 尿意がないのに漏れてしまうことがある。

[治療法]

- 保存的治療(骨盤底筋訓練、薬物療法)。
 - 外科的治療(尿道スリング手術)など。
- ※次ページをご参照ください。

その他の女性に多い泌尿器科疾患

間質性膀胱炎

膀胱に原因不明の炎症が起り、そのためにトイレが近くなるほか、膀胱や尿道に違和感や痛みが発生する病気。膀胱内に、亀裂や腫れ、出血の痕などがみられます。これも特に中年以上の女性に多いと言われます。何度もトイレに行くことにあり、膀胱に激しい痛みを感じるだけでなく尿道や下腹部全体にも痛みが広がる可能性があります。

尿路結石

腎臓から尿道までの尿路に、結石が生じるもの。泌尿器科としても非常に多くみられる疾患で、特に壮年男性、閉経後女性に多くみられます。突然の激しい痛みや血尿が典型的な症状。腎臓の結石は無症状で経過することが多いですが、これが尿の流れに沿って尿管内に落下し、腰背部から側腹部にかけての激痛、下腹部にも痛みが生じます。

「女性に多い泌尿器の病気」動画公開中



尿もれ・下腹の違和感、
こんな自覚症状はありませんか。

強い、または頻繁な尿意

過活動膀胱

かかつどうぼうこう

膀胱が過敏になってしまっており、尿が十分に膀胱にたまってなくても、自身の意思と関係なしに膀胱が収縮している状態です。そのため、突然に尿意を感じたり、何度もトイレに行きたくなるようなことが頻繁に起ります。40歳以上の男女の8人に1人が症状があるとされます。

[症状]

- 急に強い尿意が起きて、我慢できなくなる。
- 昼間起きているときに、トイレに行きたくなることが頻繁にある(8回以上が目安)。
- 急に尿意が起り、時にはトイレに間に合わずに漏れてしまう。
- 夜寝ている間に、尿意で目が覚めてしまう(2回以上が目安)。

[治療法]

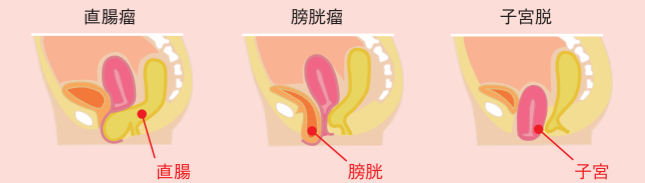
骨盤底筋訓練、膀胱訓練、薬物療法など。
難治性の場合、ボトックス膀胱内注入療法や仙骨神経刺激療法などの選択肢も。
※仙骨神経刺激療法は大分三愛メディカルセンターでは対応しておりません。ご希望の方には、対応できる病院をご紹介します。ご相談ください。

作業中、夕方に“下がる”感じがする

骨盤臓器脱

こつばんどうきだつ

ピンポン玉のようなものが膣から飛び出していることがあります。臓器を支える筋肉が弱くなり、膀胱や直腸、子宮が垂れ下がり、膣からはみ出してしまうものです。これは出産や加齢、肥満、咳や便秘、重いものを持つ習慣などが原因で、骨盤内の臓器(膀胱・子宮・腸)を支える骨盤底が弱くなり、臓器が膣の出口へ下がるものです。



[症状]

陰部に何か挟まったような異物感、下がってきている感じ(下垂感)、排尿困難、頻尿、尿失禁、便秘、排便困難などが起る場合も。重力に従い、夕方に症状が強くなったり、立ち仕事や力仕事をしている際に症状が出やすく、座ったり寝たりすると症状が軽くなる傾向も。

[治療法]

- 保存的療法/骨盤底筋訓練やペッサリー療法。
- 外科的治療/メッシュを用いた手術(一週間程度の入院)。(腹腔鏡下仙骨靭固定術、経膣メッシュ手術など)メッシュを使用しない従来法。

過活動膀胱の改善に、ご自宅でも気軽にできる骨盤底筋訓練

衰えてしまった「骨盤底筋」を鍛える体操です。
1回5分程度から始めて、10~20分少しずつ増やしてみましょう。

STEP 1 あお向けになり、足を肩幅くらいに開いて、両ひざを軽く立てる。

STEP 2 ゆっくり2~3回繰り返す

STEP 3 ゆっくり2~3回繰り返す

STEP 2 ゆっくり2~3回繰り返す

STEP 3 ゆっくり2~3回繰り返す

STEP 2 STEP 3 を 5~10セット

STEP 1 STEP 2 STEP 3

STEP 1: あお向けになり、足を肩幅くらいに開いて、両ひざを軽く立てる。

STEP 2: 尿道・肛門・膣をぎゅっと締めたり、緩めたりし、2~3回繰り返す。

STEP 3: ゆっくりぎゅっと締め、3秒間ほど静止。その後、ゆっくり緩め、これを2~3回繰り返す。

Team Urology



泌尿器科統括部長

今川 全晴 いまがわ まさはる

出身大学 熊本大学
 専門分野 泌尿器科一般、泌尿器がん治療、
 内視鏡手術(腹腔鏡経尿道の手術)
 認定資格等 日本泌尿器科学会専門医・指導医、
 日本透析学会専門医・指導医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、
 日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡)

泌尿器科医師

花田 麻里 はなだ まり

出身大学 大分大学
 専門分野 女性泌尿器科
 認定資格等 日本泌尿器科学会 専門医・指導医、難病指定医

泌尿器科部長・人工透析センター長

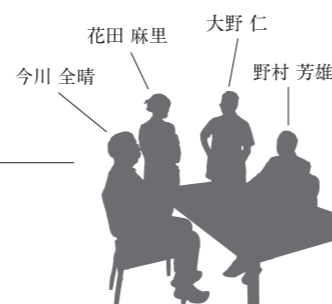
大野 仁 おおの ひとし

出身大学 大分大学
 専門分野 泌尿器科一般、排尿障害
 認定資格等 日本泌尿器科学会 専門医・指導医、日本透析医学会 認定医

泌尿器科医師

野村 芳雄 のむら よしお

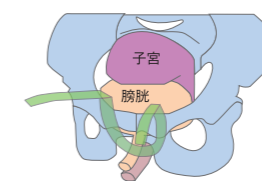
出身大学 熊本大学
 専門分野 泌尿器科一般、腎不全治療
 認定資格等 日本泌尿器科学会 指導医
 日本透析医学会 指導医
 日本腎臓学会 指導医



大分三愛メディカルセンターで対応する主な「泌尿器」手術

主な手術実績/2023年度

体外衝撃破尿路結石除去術(ESWL) ……	102件
腹腔鏡下仙骨陰固定術 ……	58件
経尿道的膀胱腫瘍切除術 ……	31件
経尿道的膀胱碎石術 ……	20件
経尿道的腎尿管碎石術 ……	16件
経尿道的前立腺切除術 ……	13件
腹腔鏡下腎尿管悪性腫瘍手術 ……	10件



膀胱から尿を出す管である尿道の下にテープを通して、尿漏れを防ぐ仕組み。

- 骨盤臓器脱の場合
 - 一次の対応 / 骨盤底筋訓練・ペッサリー(リング) ※婦人科
 - 二次的対応 / 手術
- 腹圧性尿失禁の場合
 - 一次の対応 / 骨盤底筋訓練・内服薬
 - 二次的対応 / 尿道スリング手術
- 二次的対応 / 尿道スリング手術
 - メッシュを用いる手術
 - メッシュを用いない手術
 - 腹腔鏡下手術
 - 経膣手術

2024年を振り返る。

能登半島地震の救援に 医療・介護スタッフを派遣

大分三愛メデイカルセンターをはじめとする社会医療法人三愛会から、医療・介護チームを4度にわたり派遣。能登半島地震の救援に、三愛会より大分DMATと大分JMAT、そして、大分DMATとして出動しました。総勢11名が被災地における医療・介護的な災害支援活動を行っています。



DMATチームの活動

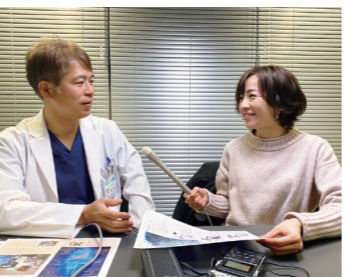
めました。夏休みには延べ600名近い人数を預かり、多い時には1日に40名近くも預かる需要に。2年目は、より安心安全な内容を追求していきます。



夏休みイベントも盛り沢山

大分三愛メデイカルセンター ラジオコーナーがスタート

エフエム大分で毎週金曜12時からオンエア中の「ちゅうか49」。4月から、大分三愛メデイカルセン



コーナー担当は荒金由希子さん

ター提供のコーナーがスタート。学童開設に合わせて、タイトルも「アイステップ」に。さまざまな観点で情報を発信しています。

わさだケアセンター 開設30周年式典を開催

介護老人保健施設わさだケアセンターは、1994年の開設以来、看護・医療的管理のもと、介護やリハビリテーション、必要な医療と日常生活上のお世話など、さまざまなサービスを提供してきました。開設30年を迎えた2024年5月12日、地域の方々への感謝の気持ちを込め、記念式典を開催。今後とも長きにわたり植田地域の健康を見守り続けていきたいと、職員一同想いを新たにしました。



挨拶する理事長・三島康典

たばるクリニック 病床運営開始

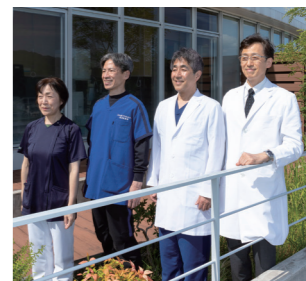
「たばるクリニック」と、それに併設する「介護老人保健施設たばる」が、「グループホームたばる」は、2017年に三愛会に加入。2019年の秋からは院長の白坂千秋が着任しています。訪問診療についてもカバーし、田原地域の医療介護を支えてまいりました。コロナ禍を経て、激動する医療ニーズに対応すべく、2024年6月から19床の入院設備の体制を整えております。



病室もすべて改装

大分三愛メデイカルセンター 病院長・副院長交代

2009年に就任以来、長きにわたり病院の礎を築いてきた森義頭が、副院長の藤井宏透とともに院長・副院長職を退任。2024年7月より、新院長には中山尚登(脳卒中センター長)が、副院長には宮本宣秀(循環器



4名での新体制へ

大分三愛メデイカルセンターで 連携する医師たちの会議開催

医師会主催の「大分市ネットワーク会議」が、2024年9月9日、前年に引き続き大分三愛メデイカルセンターで開かれました。植田・野津原・大南・由布地区会議として、約50名の地域の病院・診療所の医師が集合。今後の連携のために闊達な議論が繰り広げられました。



地域から多くの医師が参加

声で、寄り添いたい。声で、生きていく。

生活の中にもいつも流れていたラジオ。魅力的な言葉たちに元気づけられ励まされ、いつしか自分も、そんなふうになりたくて、なによりラジオが楽しい。番組に、ガキを送り続けていた小学生の少女は、2001年、エフエム東京にアナウンサーとして入局し、小さなころの夢の入り口に立った。

定年を迎えた前任者から防災キャスターを引き継いだのが、「防災」に本格的に関わるきっかけ。新潟地震の現地取材などで大きな衝撃を受け、さらに東日本大震災を経験する。毎朝生放送で被災情報を伝える中で、自身が発する「言葉」の重さの意味を、迷いと共に考え続けてきた。それが「伝える」ということに対する転機ともなった。2015年に防災士の資格を取得。ラジオの防災・災害番組には数多く出演し、企画

制作・取材も自身で行ってきた。2020年には独立しフリーに転身するとともに、難関である絵本専門士の資格を取得。ラジオ番組では絵本朗読コーナーを10年以上務めてきている。「あなたの声は、優しくして穏やかな声。そう言ってもらったことがあります。私が小さなころそうだったように、さみしい時、つらいときに、ひとに『声』で寄り添えることを願って、私は『声』で生きていくと決めたんです」

個人事務所名は「tender voice」。防災を呼びかける漂々しいアナウンスの一方、その「tender」な声で、全国のリスナーに優しく寄り添いつづけている。



アナウンサー・絵本専門士・防災士

古賀 涼子さん

プロフィール

福岡市出身。アナウンサー、絵本専門士、防災士。2001年にTOKYO FM入社、2020年に独立。東日本大震災では被災直後の特別放送を担い、ラジオの報道番組には出演歴多数。現在も読み聞かせのコーナーを長年務める。政府広報の各メディアナレーションを担当中。



年の最後に、地域の皆さまと
12月21日、病院内にて小さなクリスマスコンサートを企画。家長玲於さん(チエロ)、行天祥晃さん(テノール)、小町美香さん(ピアノ)によるアンサンブル。さらに、絵本専門士でフリーアナウンサーの古賀涼子さん、ラジオパーソナリティーの井門宗之さんによる、読み聞かせとトーク。職員や地域の方々に、学童施設の子どもたちも迎えて、クリスマスのあたたかなひと時を共有しました。コロナ禍を経て、医療機関内でもこういったイベントが多数実施できるようになってきました。

長い年月を振り返るときは、「今」も見つめてみる。
何百という人がやってきては去り、今、800人近い職員がここにいる。
わたしたちは、どうして三愛にいるんだろう。

そんなのは人それぞれ。
けれど、
「命を救いたい」「人の役に立ちたい」「なにか、してあげたい」
この単純な優しさは、
この地域の医療介護に踏み込んだ800人の、共通点かもしれない。
「人を助けるお仕事です」
このセリフがこんなに似合う場所は、ほかにない。

できないときもある。うまくいかなかった。くじけそう。
ちょっと落ち込む。…ちょっとどころじゃない。
でも、頼ってくれる人がいる。助けてあげたい。役に立ちたい。

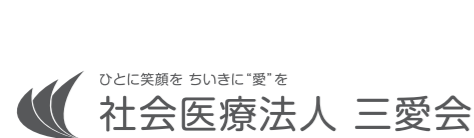
地球の、世界の、国のために、なんてことはできなくても。
目の前の人に手を差し伸べる、
それはできる。
下手でもいい。冷たい手より、不格好だけど温かい手の方が、人は触れたいくなる。

理想を追う毎日をひたすらこなし、もう54年。
だいたい2万回の「今日」が積みかさなって。
だいたい2万回の「明日」にバトンをつなげてきた。

「今日もがんばったなあ。」
へとへと顔で泣き笑えるのは、
きっと、めいっぱい誰かの役に立ったということ。
その、たぶん「愛」みたいなひたむきを、明日もここで続けていく。

2025年、三愛会、55周年。

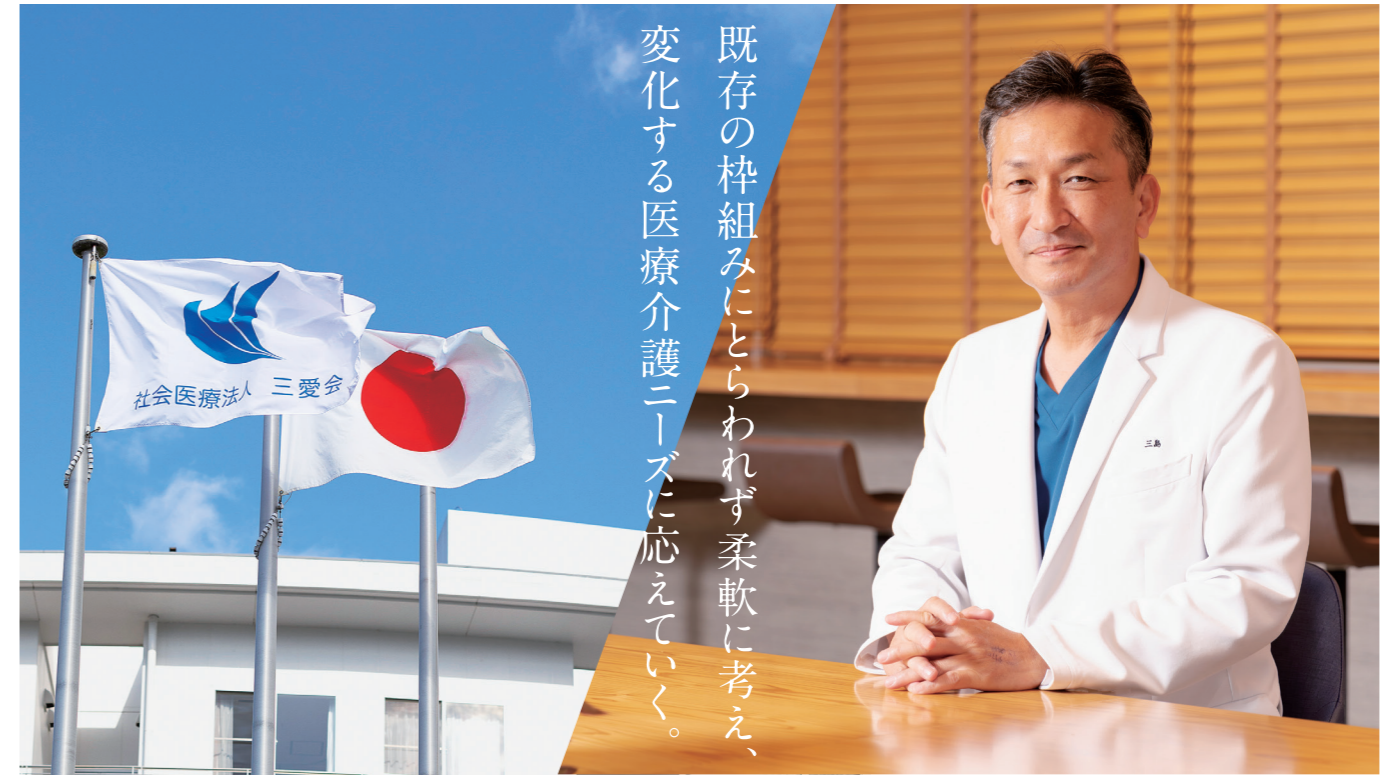
今日のひたむきを、明日も。



大分三愛メディカルセンター
の つ は る 診 療 所
た ば る ク リ ニ ッ ク
三 愛 呼 吸 器 ク リ ニ ッ ク

三 愛 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン
さ ん あ い ヘ ル パ ー ス テ ー シ ョ ン
介 護 老 人 保 健 施 設 わ さ だ ケ ア セ ン タ ー
介 護 老 人 保 健 施 設 た ば る

グ ル ー プ ホ ー ム た ば る
有 料 老 人 ホ ー ム さ ん さ ん
介 護 保 険 相 談 セ ン タ ー さ ん あ い
三 愛 総 合 健 診 セ ン タ ー



明けましておめでとうございませう。地域の皆さまにおかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。令和も7年目に入りました。昨年、令和も7年目に入り、翌日には能登半島地震が発生し、翌日には羽田空港での大事故が起きるなど、不安な幕開けとなりました。当法人も4度にわたりチームを石川県に派遣し、医療介護の支援に取り組みしました。暗いニュースが多かった2024年は、日本全体が活力を失っているようにも感じられる一年でした。「より良い未来を」などの目標を掲げるのは容易ですが、その原動力となる「元氣」を私たち一人ひとりが取り戻し、日本全体が明るくなる年にしたいと決意を新たにしております。

療・介護の充実はもちろんのこと、日常生活における支援や安全を確保するための社会全体での保護が一層重要となります。

当法人では、この課題に小さな取り組みから向き合っており、子育て世代のニーズに配慮し、児童施設を開設したほか、先進的なDX化により業務効率化や患者・利用者の安全確保体制の充実を図っています。また、昨年7月には、大分三愛メディカルセンターの体制が刷新され、中山尚登新院長と3名の新副院長が就任しました。新体制は、森義顕前院長が築かれた確固たる基盤を受け継ぎ、さらなる組織の発展と地域医療への貢献を目指しております。

変化が激しいこの時代において、禅の教えである「不思議底如何思量」の精神を胸に、既存の枠組みにとらわれず柔軟に考え、地域の皆さまと共に変化する医療介護ニーズに添えていく所存です。そして、医療・介護分野から地域社会を支え、日本全体の活力を取り戻し、国力の回復に貢献できるような全力を尽くしてまいります。

おかげさまで本年2025年、社会医療法人三愛会は55周年を迎えます。十二支では「乙巳（きのとみ）」の年にあたり、「再生と変化」を象徴します。不安定な情勢の中、柔軟かつしなやかに成長し、地域の皆さまの健やかな生活を支え続ける一年にしたいと願っております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

社会医療法人三愛会 理事長
二島 康典